本町のまちづくりを考える会　かわら版
平成２２年度

本町のまちづくりを考える会は、１年を通してまちづくり活動をおこなっています。
今回は、平成２２年度の活動の一部をご報告します。

◆まちづくりの館の管理運営

平成２１年４月より「本町のまちづくりを考える会」が、まちづくりの館の指定管理者として、館の管理運営を行っています。

夏場は、本町を訪れた人への冷茶提供が大変喜ばれています。お出かけＭＡＰ等の資料も揃っており、休憩していただきながら、本町地区や岸和田の歴史・見所について知ってもらうことも施設の目的となります。

また、本町地区住民のまちづくりの拠点として、集会所の役割もはたしており、平成２２年度は以下の講座を行いました。

●まちづくりの館講座シリーズ②

歴史講座：明智光秀と岸和田

【日　時】平成２２年１１月１３日（土）
【参加者】５０名

まちづくりの館運営事業として、昨年度から始めました「まちづくりの館講座」を今年も開催しました。郷土史研究家の永谷裕久さんを講師に迎え、岸和田市・本徳寺にある明智光秀肖像画の由来についてお話し頂きました。

●写真展

平成２３年１月中旬から２月末まで、全国のマンホール蓋の写真を展示しました。

その他、古いまちなみ写真などを随時展示しています。

●その他

まちづくりの館では、東日本大震災被災地への募金箱を設置しています。

◆平成２２年度本町のまちづくりを考える会総会

【日　　時】平成２２年６月２日（水）
【場　　所】まちづくりの館
【参加者数】会員２６名（内役員１５名）
【内　　容】平成２１年度事業及び収支決算報告
　　本町のまちづくりを考える会役員改選
　　平成２２年度事業計画案および予算案

２１年度の事業会計報告が承認され、２２年度の事業計画・予算が決まりました。
また、役員改選を行い、新体制となりました。

◆板塀プロジェクト

【日　　時】平成２３年３月６日（日）、１２日（土）
【場　　所】市役所別館　堺阪南線側の約６７ｍ
【参加者数】延べ約２５名

景観阻害要因であるトタンやブロック塀などを板塀で覆いまちなみを修景するもので、今回は７箇所目になります。市役所別館の堺阪南線側の鉄柵を板塀で修景しました。

鉄格子に板を張り

板塀の上部にも板を張り

最後に、汚れたよう壁部分を洗いました

◆先進都市視察

【日　　時】平成２３年３月２０日(日)
【場　　所】近江八幡市の重点伝統的建造物群保全地区ほか
【参加者数】３１名

本会では、他地区の先進事例等を本町のまちづくりに活かそうと、会員の皆様と毎年日帰りの視察研究を行っています。

平成２２年度は、近江八幡市の重点伝統的建造物群保全地区、安土城信長の館、草津宿本陣などを視察しました。近江八幡市では、空き町家の利活用によるまちの活力再生を目指し、空き町家の所有者と空き町家の活用を希望する方との情報集約に取り組んでいるお話などを伺いました。

◆紀州街道にぎわい市・夢灯路（中止）

【日　　時】平成２３年４月２日(土)･３日(日)
【場　　所】紀州街道本町地区

当会が中心となって実行委員会を立ち上げ、今年度も多くの方々のご協力をいただき開催の準備を進めてきました紀州街道にぎわい市と前夜祭は、３月１１日に発生しました東日本大震災の甚大な被災状況に鑑み、開催を中止しました。

本町まちづくりを考える会では、東日本大震災被災地への義援金（１０万円）を、岸和田市を通じて送りました。

◆本町地区視察の対応

●学生フィールドワーク

【日　時】平成２２年６月２３日（水）
【内　容】大阪市立大学経済学部の高橋ゼミの学生１６名が、本町のまちづくりを考える会の取組についてフィールドワーク（関係者に直接聞き取りを行うなど、現地に訪れ調査を行うこと）に訪れました。学生たちから、当会の結成の経緯や具体的な活動内容などについて質問がありました。

●タウンウォッチング

【日　時】平成２３年３月１９日（土）
【内　容】(社)大阪府建築士事務所協会が、まちづくりに関する調査・研究を行うために本町地区をタウンウォッチング（視察）に訪れました。

◆ＮＨＫで本町が紹介されました。

●ＮＨＫの「鶴瓶の家族に乾杯」の撮影が本町地区内でも行われ平成２３年２月２８日に放送されました。

◆その他本町地区内の動き

大阪ミュージアム構想のひとつとして、岸和田城を中心とした「石畳と淡い街灯まちづくり事業」が行われています。この事業を契機として岸和田城周辺のまちの賑わいづくりの促進を目指す「岸和田城周辺まちづくり協議会」が設置されました。本町のまちづくりを考える会としても本協議会に参画し、情報共有や意見交換などを行っています。

●堺阪南線の歩道に街灯が設置されました。

今年度、当会が実施した堺阪南線側の板塀プロジェクトと調和して夜の本町に新たな一面を見せてくれるとともに、防犯面からも安心観を与えてくれます。

●紀州街道沿いにも観光情報解説版が設置されました。

史実などを紹介した観光情報解説板が、本町地区内にも３箇所設置されています。

◆他団体等との連携

岸和田市内の景観について研究する「まちづくり創造研究会共同研究チーム（景観）」に本町のまちづくりを考える会として参加しました。平成２２年７月３０日に、当該研究チームが実施した岸和田城内の八陣の庭の灯プロジェクトでは、にぎわい市の前夜祭で使用している「灯篭」が、城内への誘導に一役を担いました。

◆まちなみ景観関係

本会では、まちなみ景観の推進のひとつとして岸和田市が平成5年より行っている歴史的まちなみ保全事業の家屋修景助成の活用を奨励しています。

毎年少しづつですが、家屋修景によりまちなみが整備され、よりよくなっています。